

二本松市議会議員会派

あぶくま会

発行

二本松市議会あぶくま会

発行責任者 佐藤 源 市

〒964-8601 二本松市金色403-1

TEL 0243-23-1111

「新たな希望へ」

会長 佐藤源市

所属：総務常任委員会
議会運営委員長
・広域議会議員



新春のお慶びを申し上げます。昨年は全国各地で豪雨災害、大地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。東日本大震災を経験した我々は改めて自然災害の恐ろしさや、災害への日常的対策が重要であることを痛感した所でありま

す。今年、新市五ヶ年計画の二年目の年であり、少子高齢化による人口減少は年々と進み、その対策は喫緊の課題であり、少子化、子育て住宅対策等の事業拡充を図ることが必要であり、又経済活性化へは工業用地の確保、企業誘致により雇用を促進し賑わいのある地域づくりを図ることを多くの市民が望んでおり、早急な対応が必要であります。

明るい話題として、二〇二〇年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるに当たり、阿武隈川漕艇場がカヌー競技練習場として活用されることです。競技施設整備は固より宿泊施設ウッディハウスの改修も必要であり、この機会を契機にカヌー競技の競技力向上を図り、当市からも再びオリリンピック選手の輩出が出来る環境づくりが不可欠であります。大会には多くの選手を迎え入れ、大成功の大きな栄華を咲かせたい。本年も希望に満ちた活力ある年でありますよう御祈念申し上げます。

謹賀新年

新春あけましておめでとうございませう。

皆様には清々しく新年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

東日本大震災、原子力発電所事故から早十六年が経過しようとしております。特に放射能汚染

対策については、教育施設・住宅・道路・山林除染等を最優先に取り組み、今後は汚染物の中間貯蔵施設への早期搬出が喫緊の課題であり、行政と市民が一体となり安全安心な環境づくりへ取り組み、震災前の水準へ回復させなければなりません。

又新市五ヶ年計画の二年目となり、新たな創生へ経済発展のための企業誘致による雇用の創出、人口減少対策については、

住宅の確保、子育て支援の充実強化、観光事業については交流拠点の整備として、安達ヶ原ふるさと村のリニューアルへ大胆な施設へ変化を求め誘客への展開を図るべきであります。

あぶくま会は活力に満ちた将来性のある施策を提案し、元氣の出る市政づくりに邁進し市民の負託に応えて参ります。

市民の皆様の御健勝をご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。



「ご挨拶」

副会長 浅川吉寿

所属：建設水道委員会
議会運営委員
・広域議会議員



市民の皆様、新年明けましておめでとうございませう。

輝かしい二〇一七年の新年をご家族皆様方と共に健やかに迎えましたこと心からお祝い申し上げます。昨年は、国内外共に気象災害が多いう年でありました。幸いにして、郷土二本松市は、防犯、火災、交通事故共に一昨年を下回り、比較的穏やかな一年だったかと思えます。しかし、六年前に発生しました、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故による、放射線被害の影響は、今だに先が見通せず、復旧復興は未だに中途でありますこと、誠に残念であります。本年は四年でありますので、幸福を取れるよう、大きく羽ばたけるように、そして、市民皆様方が健康で生きがいのある、充実した一年に成ります様、心からご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

「年頭のあいさつ」

幹事長 高橋正弘

所属：市民産業常任委員会



市民の皆様、新年明けましておめでとうございませう。

希望に満ちた新春をお迎えのことと存じます。四市町が合併し新二本松市誕生十二年目となり皆さんが一体感のもてる二本松市となりました。先人の血の滲むような努力の上現在の二本松市の繁栄が築かれています。

本市を取り巻く環境は、一段と厳しさを増す財政状況や少子高齢化の進行と過疎化問題、そして原発事故放射能除染対策等を解決していく重要な課題です。

本年も市民の皆様にとりまして飛躍のとり年になるよう願っております。子どもに夢のある未来を託すことのできる地域づくりのため全力で頑張る一年といたします。

「私の初夢」

会員 齋藤賢一

所属：文教福祉常任委員会
監査委員



市民の皆様、新年明けましておめでとうございませう。

二〇一七年の新春を希望に満ち、御健勝をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

さて、初夢を観ることができましたので御披露したいと思います。安達ヶ原のふるさと村・安達ヶ原公園に二〇〇万本の曼珠沙華が咲き乱れ、園内には母なる川、阿武隈川に生息する淡水魚や懐かしい小動物や昆虫類が展示された「あぶくま生物科学館」がオープンして、県内外から多くの子供たちを中心に観光客が見物に訪れ、曼珠沙華開花期間中の九月から十月までに三〇〇万人に達し、道路は渋滞し、駐車場整理に市議会議員も動員され、岳温泉も連日宿泊客で満杯になりました。またその余勢を駆って花の周遊地となった合戦場をのしたれ桜も東和の地蔵桜も開花期に大幅増の二〇〇万人の見物客が訪れたところまで目覚めました。

あぶくま会は今年も皆さんの夢実現のために頑張ります。

「ご挨拶」

会計 石井 馨

所属：文教福祉常任委員会
議会たより編集委員



市民の皆様、新年あけましておめでとうございませう。

輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から七年目を迎えます。復興のさらなる加速とともにこれからの地域の活性化をどう進めていくのか具体的な対策が求められています。

人口減少の中で地域のコミュニティを維持していく仕掛けづくりも喫緊の課題です。本市においては観光の振興により交流人口の増加を図ってきましたが、他方、地域に根差した様々な伝統の継承が地元の方々によって守られ、そして、次世代へと脈々と受け継がれています。そうした地域の、たから、これからの地域の発展のちからが秘められていると思えます。多くの市民の皆様と取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いたします。

行政視察報告

人口減少対策、産業振興等の先進地実践例の視察

あぶくま会では、人口減少対策、産業振興、教育、新エネルギーなどの先進地での取り組み事業の実践例の視察を目的に行政視察に行ってきました。

7月11日 島根県松江市

島根県の県庁所在地で、松江城や様々な文化遺産を有する同市では、教育についても特筆すべき取り組みが行われています。松江市では子供たちの学力向上への取組として、図書館の活用を中心とした対策が取られています。図書館での学習に加えて、蔵書の貸し出しについて学校ごとに指導した結果、ほとんどの児童生徒が毎週図書館を利用するようになり、学習への意欲が高まったと教育委員会では分析しています。また、松江市では、小中一貫教育の体制を軸にして、16校ある中学校区を8つのブロックに分け、それぞれの小学校・中学校において子どもたちの学力習熟度に依りて指導を行っています。加えて、小中一貫教育の利点を生かし小学校において習う内容の理解が不十分な場合、中学校において復習授業を行い、全体的な底上げを図って結果を出していました。更に、教師間の情報交換の場として、ブロック毎の研修会・意見交換会が定期的開催され情報の共有によって問題の解決が図られていました。それらの取組の中で大きな位置を占めるのが図書館の存在であり、授業の予習復習などの利用促進により学力が向上したことを学力テストによって確認したものでした。

本市においても図書館の活用については、利用促進が図られるべきであり、参考となるものでした。

7月12日 島根県出雲市

出雲大社のある出雲市は歴史と古くからの伝統が続く人口17万人の都市ですが、一方で先進的な新エネルギー政策を積極的に取り入れているところでもあります。産業の振興と市民が安心して住むことが出来る環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。代表的なものとして、日本で最大級の風力発電所を誘致する等自然エネルギーの活用が進められています。山あいの地形を生かし、景観を損ねない配置によって市民への電力供給のみならず、観光の目玉として活用されています。また、市内の各所に太陽光発電のメガソーラー設置が積極的に進められています。特筆すべきは、市内の森林の有効利用として、木質バイオマス導入が進められています。森林資源維持のため林業従事者への支援では、財政的な面に加えて後継者育成などの事業がなされています。加えて、市民参加型の林地残材搬出事業では、市民が主体となって森林の保護、育成のための財政支援地元木材の利用促進が図られており、「木質チップボイラー」の導入によって例えば、公共の温泉施設への提供等が行われています。地元の木材が使用され、エネルギーの地産地消が進んでいます。環境にやさしいエネルギーを森林資源をもとにした活動においては、市民参加型の木材利用・維持活動が市あげての取組となっており大変参考になるものでした。森林資源の活用については、本市においても取り組み可能なものであると感じました。

安達ヶ原ふるさと村の今後について研修

あぶくま会は本年1月、野地議長にも同行いただき群馬県内のさこの園と昆虫の森へ行政視察を行いました。今回の目的は、安達ヶ原ふるさと村の活性化とりわけ子供たちに自然に親しんでもらえるような施設の在り方を学ぶものでした。加えて、安達ヶ原ふるさと村への観光客誘致を図るための視察となりました。

1月23日 群馬県みなかみ町

最初の視察場所として、群馬県みなかみ町にある(旬)月夜野きのこ園を訪問しました。ここでは、主にシイタケ栽培とシイタケ栽培に使用する菌床を利用しているのカブトムシやクワガタなどの昆虫の育成を手掛けている会社で、特に菌床の販売はインターネットで全国から注文を受け大規模に取り組んでいました。クワガタの生育・販売についても主にネットで取引されており、今後も拡大が予想されるものでした。視察の目的であるクワガタの生育については、シイタケの菌床使用した方法で容易に行うことが確認できました。

7月12日 島根県益田市

島根県西部に位置する益田市は面積730km²、人口約5万人と二本松市とほぼ同規模の地方都市ですが、近年の人口減少に特色ある対策を行っていることから実践例を視察しました。主なものとして、住民自ら運営する地域の自治組織設立を進めています。これは、その地域のことを一番理解し考えている住民や団体が自らの地域を住みよきものとするために、自主主体的に取り組む組織であり、自分たちのことは自分たちで決め動かしていくまさに地域住民が主役となった地域づくりの形を作っていく組織です。そこでは、住民が主体的に話し合いながら、地域の歴史や伝統・文化などを尊重し、地域の個性を生かした地域活性化の取組が益田市において20地区すべてで行われています。

一方、行政においては益田市へのU I ターン者の獲得に様々な施策が行われており、定住促進のための住まいの確保に対する経費の補助、その中でも特に若者や親子連れなどの場合は加算する等の制度が設けられています。また、空き家バンクの活用事業として空き家の物件情報を民間の業者に提供し、紹介・手配を行政と民間が一体となって取り組んでいる事例が紹介されました。これらの事業を進めていく部署として益田市では、人口拡大課を設置し、専任者を配置しています。人口拡大課では、定住促進の為に田舎暮らし体験、農業体験事業を通して人口増加に取り組む成果を上げています。益田市への移住者は平成25年以前については、年平均30名程度でしたが、制度導入後の平成26年度は208名、平成27年度は221名と定住促進の効果が表れています。

本市においても様々な施策が行われています。益田市での取り組みは参考となるもので、今後検討していく中で、本市にあった施策を行っていく必要を感じました。

7月13日 鳥取県境港市

全国有数の水揚げを誇る境港漁港を抱える境港市では、古くからの伝統を生かしながら、耕作放棄地の再生に向けた取り組みがなされています。地元特産の和綿「伯州綿」を活用し、その栽培にあたっては耕作されなくなった農地の活用を図っています。

この「伯州綿」の栽培については専門の指導員を配置し、種子や資材購入補助ならびに収穫後の販売を支援しています。この事業によって地元の雇用につながり、加えて地域の特産品の販売によって活性化がはかられています。課題として、全国的には知名度が低く販売を伸ばしていくか、また、継続的に事業を行っていくためには民間の活力導入が必要と感じているとのことでした。本市においても地元産品の販売促進と耕作放棄地帯策として有効ではないかと感じました。



1月24日 群馬県桐生市

群馬県桐生市にある群馬県立ぐんま昆虫の森では、昆虫の生態を子供から大人まで幅広く理解できる工夫を凝らした展示を行なっています。広大な敷地に自然環境を残した作りで、どの季節でも楽しめる施設となっています。昆虫の展示によって子供たちがクワガタなどの生態に興味を持って観察ができる構成となっています。また、付属の図書室では多くの文献に接することが出来るほか、広い自習室での学びの場も提供されています。そうした工夫を凝らすことによって子供たちのみならず、大人の方もリピーターとなって何回も来館される方が多いと聞きました。集客効果のある施設との印象を持ちました。

本市における安達ヶ原ふるさと村での展開について今後の検討材料となりました。



あだち野考

新年あけましておめでとございませう。今年もよろしくお願ひいたします。今年(西暦)は四年、羽ばたくように飛翔できる年となるよう願っています。昨年(西暦)は熊本や鳥取での地震、北海道岩手県における台風による水害等予測できない災害に見舞われました。いつ起こるかかわらない災害への備えは万全を期していかねばと痛感しました。予測できないといえ、昨年のアメリカでの大統領選挙であり、一月にトランプ大統領就任後、次々と打ち出す政策にアメリカ国内でもより、世界でも大きな物議をかもしています。特に中東アフリカ七ヶ国のアメリカへの入国停止などは、常識では考えられないもので、政権内からも批判が出るなど問題があるといわざるを得ません。しかし、よく考えて見るとトランプ大統領はアメリカの正当な選挙で国民に選ばれた上に、乱発している大統領令の内容についてはそのほとんどが選挙中に国民へ公約したものでした。そう考えると、美辞麗句を並べた演説のみで実行力が伴わない事より、よほど民主的なのかも知れません。とはいえ、アメリカがファーストをかせぎます、我が国としても相当の覚悟が必要になってくるかも知れません。最近、〇〇ファーストなる言葉が頻りにメディアに登場しななげますが、あまり極端にならなければと危惧しています。何事においても相手と思いやり、調和のとれた優しい社会が実現するよう願っています。今年、皆様にとりまして幸多い年となりますようお祈りいたします。(鷹)